

【施策評価シートの見方】

後期基本計画に掲載されている施策名が記載されています。

すべての目標指標の達成状況を考慮し、当該施策の達成状況を評価しています。

当該施策の今後の展開を記載しています。

後期基本計画に掲載されている施策小項目名が記載されています。

施策を行う目的を記載しています。

施策を実現するために必要な役割分担について「市民」「行政」の視点から記載しています。

施策の対象(施策の相手が誰なのか)と意図(施策が達成した状態)について記載しています。

施策の達成状況を測る指標が記載されています。指標ごとに達成状況が記載されています。

本施策に関する項目ごとの評価総括的な評価及び今後の課題が記載されています。

令和元年度 施策評価シート (平成29-30年度評価)		No. 6 - 4					
評価日	令和元年12月1日	施策名	第4期 計画的、総合的な行政の推進				
実施小項目	第4期 まちづくりの推進のために(行政運営)	実施小項目	1 行政運営による市民サービスの向上				
実施小項目	2 高質な市民サービスの向上	実施小項目	3 計画的な行政運営の推進				
実施小項目	4 組織体制の整備	実施小項目	5 人事管理の充実				
実施の目的	・明確な目標設定と評価、評価に基づく継続的改善が行われることをめざす。 ・市民ニーズの向上により、市民サービスの向上を図る。 ・社会情勢等により変化する行政需要に迅速かつ的確に対応できる組織をめざす。 ・職員研修の充実により職員の能力の向上、専門性の育成を推進するとともに、優れた人材の確保をめざす。						
施策に関する個別対策	第4次よしかわ行政改革大綱(平成27年度～平成31年度) 西川市まち・ひと・しごと創生総合戦略(平成27年度～平成31年度) 第4次西川市定員適正化計画(平成27年度～令和2年度) 西川市人財育成基本方針(平成30年度～)						
項目	対象(何を対象として施策を行うのか)	意図(対象をどのようになりたいのか)	市民の役割と行政の役割				
	行政施策、事務事業、行政組織、全職員	目標を明確にし、結果を評価し、評価を活かした行政運営が行われるようになる。また、適正な人事管理を行うことにより、市民として、様々な行政課題に適切に対応できるようになる。	市の施策に対する関心を高め、まちづくりの思いを共有することに努める。 各分野の計画における施策などの目標を明確にし、進行管理と説明責任を果たす。また、自らの創意工夫を持って、自治体経営を行う。				
No.	指標名(上段)	単位	前年度の値	実績値(今年度)	目標値(目標年度)	達成状況	最終目標値(目標年度)
①	市民全体の取り組みに対する満足度	%	72.3	77.5	75.4	◎	80
	増加することが良いとされる指標		H28	H30	H30		R3
②	事務事業評価の達成度	%	77.7	82.7	78.9	◎	80
	増加することが良いとされる指標		H27	H30	H30		R3
施策の進捗状況	<input type="checkbox"/> 計画通り進捗できた <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば、計画通り進捗できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、計画通り進捗できなかった <input type="checkbox"/> 計画通り進捗できなかった	目標達成度評価	3.5				
市民ニーズの反映度	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズを反映できた <input type="checkbox"/> 市民ニーズをどちらかと言えば反映できた <input type="checkbox"/> 市民ニーズをどちらかと言えば反映できなかった <input type="checkbox"/> 市民ニーズを反映できなかった	市民ニーズの反映度					
施策に対する事務事業の達成	<input type="checkbox"/> 達成は妥当であった <input type="checkbox"/> 達成はどちらかと言えば妥当であった <input type="checkbox"/> 達成はどちらかと言えば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 達成は妥当でなかった	達成状況					
施策に関する現状と課題 ・目標指標である「市民全体の取り組みに対する満足度」「市民サービスの向上に対する満足度」については、目標値を達成している。今後も引き続き市民意識調査等により、的確に市民ニーズを把握し、施策を実施していく。 ・第5次総合振興計画後期基本計画の推進にあたっては、社会情勢や市民ニーズ、財政状況などの変化に柔軟に対応できるよう、第4期実施計画の改定を行った。 ・行政改革大綱については、各取り組みの進捗管理を行いながら、状況に応じて計画の見直しを行った。令和元年度までの推進期間となっているため、社会情勢の変化や行政需要の多様化・複雑化への対応について、次期大綱に反映する必要がある。							

本施策の指標の目標達成度(全指標の評価平均)を記載しています。

【表面】

本施策の評価平均点を記載します。

・第5次総合振興計画後期基本計画を計画的に推進するために、第5期実施計画を策定し、必要に応じて改定を行っている。
 ・ニーズの多様化や社会情勢の変化に対応していくため、適正な職員の定員管理に努める。
 ・ISO9001供給者選定審査事業においては、平成30年度より改定した品質マニュアルの運用を開始し、引き続き職員への浸透を図っていく。
 ・業務プロセス管理表に関して、その整備や管理意識について、あらかじめ関係・配慮を図り、より効率的な事務を進めていく。

No.	事務事業番号	事務事業名	成果指標			事業の方向性(今後の方針)	
			成果指標名	単位	H30目標値		H30実績値
1	101312	総合振興計画策定事業	市民の主体的参加率	%	85	85	現状の策定継続
2	101315	行政改革推進事業	市民サービスの向上	%	80	78	現状の策定継続
3	101313	地方創生推進事業	西川市の参加率	%	85	85	現状の策定継続
4	101405	人事管理事業	定員適正化率	%	100	100	現状の策定継続
5	101401	職員研修事業	実施率	%	80	92	半期を改善
6	101410	職員採用事業	採用者数	人	10	14	現状の策定継続
7	101316	ISO9001供給者選定審査事業	品質管理の徹底	%	80	78	現状の策定継続
8	101317	行政評価事業	評価の実施率	%	85	0	半期を改善

平成29年度、平成30年度の主な取組実績

・総合振興計画策定事業においては、平成29年度に第4期実施計画を策定し、平成30年度に改定した。
 ・行政改革推進事業においては、平成27年度に策定した第4次行政改革大綱の改革項目について引き続き取り組みを推進した。
 ・職員採用事業においては、受験生を対象とした市内巡回バスツアーや職員との懇話会を実施した。今後は、大学等での説明会の機会を増やすなど、受験生に対して西川市をアピールする取組を進め、引き続き優秀な人材の確保を図る。
 ・職員研修事業においては、平成29年度に実施した職員人材育成講座の効果を踏まえ、西川市職員研修に関する重点事項を策定した。
 ・ISO9001供給者選定審査事業においては、ISO9001の規格改訂を受け、当市品質マニュアルを最新規格である2015年版に準拠したものに改訂し、平成30年度からの運用を開始した。
 ・アウトソーシング推進事業においては、他自治体における窓口業務等の外部化の事例研究や、当市を題材とした外部化による効果的なコストメリットの分析を行った。

当該施策に関連する事務事業名及び事務事業の成果指標を記載しています。

主な事務事業の取り組み内容及び当該事業の今後の方針を記載しています。

【裏面】